

車座トーク（新市） 概要

開催日時：2025年（令和7年）2月25日（火） 19時00分～20時30分

開催場所：新市老人福祉センター

参加者数：11人

次 第：開会・参加者紹介

意見交換

まとめの挨拶

写真撮影・閉会

【2月1日ワークショップの概要発表】

- ・「新市のにぎわいを支えているモノ・コト」「今後新市のにぎわいの拠点や内容になりうるモノ・コト」について意見を出し合った。
- ・県立戸手高校でも、総合的な探求の時間で、それぞれが興味のある分野を選択し、新市の歴史や古墳について学んだり、動物園まつりへの参加、地域の高齢者に向けてスマホ教室や認知症カフェの企画運営を行っている。
- ・「新市のにぎわいを支えているモノ・コト」として、備後緋の発祥地の地であることやデニム、菊、アスパラガスが地域の産業を支えていること、備後一宮吉備津神社の例大祭、素戔鳴神社の祇園祭などがあるという意見が出た。これらを生かしてSNSを使った宣伝や、魅力をつなぐことなどを今後の地域づくりで行っていきたい、それを行える場所として芦田川に新たなかわまち広場を作る、という意見が出た。

【意見交換の概要】

参加者からの主な意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・戸手高校で認知症カフェを行っているが、認知症の方の参加率が低い。認知症の方やその家族の社会参加が難しいことが課題であると感じている。 ・戸手高校で、部活動体験、スマホ教室、音楽フェス、スポーツ大会などを行い、新市の方々にとって世代を超えた交流を行うことができる集いの場となるようなイベントがあるといい。 ・認知症の方を対象としたタクシー制度があれば、イベントにも気軽に参加できると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これから先、5人に1人が認知症になると言われている身近な問題だからこそ、みんなで理解をしないといけない。本人も家族も支えられる地域ができればいい。 ・認知症の方を対象としたタクシー制度も一つの手段だと思う。一方で、まずは認知症とその家族の方をどうやって地域で支えるか、その集いの場を作り長続きさせることで活動が広がる。活動が広がったときに、移動手段があればもっと大きな場に発展していくというアプローチもある。まずは認知症の方を支える集いの場をたくさん作っていくアプローチを行っていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新市町には古墳や備後一宮吉備津神社など歴史があるが、戸手高校生内でも知らない人が多いため、知名度を上げたい。上戸手駅に 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っているようで知らないのが地元のこと。学びの機会をみんなで工夫して作ってほしい。 ・上戸手駅の神輿舎のような、もっと他に神輿

参加者からの主な意見	市長コメント
<p>飾ってある、けんか神輿の神輿舎は知っている人が多いため、このような気軽に触れられる、学べる場所が多くあるといい。</p>	<p>を展示し発信する機会があれば一緒に考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市のことを勉強する取組のリーダーとして、先頭に立ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新市について知ったり、訪れるきっかけになるイベントが開催されたらいいと思う。新市の有名なものやおいしい食べ物が集まった食博、音楽フェスなど。テレビ番組での宣伝も、知ってもらえるきっかけになる。 ・備後緋についても、手に取ってもらえ、良いものだと思っていただけるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、備後緋音頭の踊りを教えていただいたことがあり、法被を一つ預かった。福山市と親善友好都市提携をしているマウイ郡の群長さんに渡すと、とても喜んで、法被を羽織って日本文化に触れていただいた。日本の伝統文化の良さがある。 ・備後緋の復興再興に、新市の皆さんと一緒に取り組みたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・備後緋が広められるように、広場などを利用した大規模なイベントがあればいい。音楽フェスなどに備後緋が登場することで人々の印象に残ると思う。人々の記憶に残る企画や場所ができれば、今よりもっと活気があふれる新市町になると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼら祭りで備後緋音頭を踊りながらパレードするのもいいと思う。同じ福山の中で新市や緋をもっと知ってもらおう取組をしてもらえればありがたい。 ・是非これからは、高校生だけの議論ではなく、幅広い世代が集まった議論の場を高校生のみなさんが音頭を取って作り、考え方の幅を広げていく取組をしてほしい。 ・一度だけのイベントで終わるのではなく、小さな取組を継続して続けていくことを心掛けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新市と言えば祇園祭や備後一宮など歴史的・文化的なことが思い浮かぶが、自分もその歴史を詳しく知らなかった。歴史を知れば地元愛や地域振興にもつながるのではないかと感じている。 ・コミュニティ・スクールなどを利用して、学校現場の中で地元の歴史の他にもどういったことが、新市町がこれから発展していくために役立つかを考えるといいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福山市では、現在、全校区でコミュニティ・スクールの導入に向けて取り組んでいる。ただ、コミュニティ・スクールという形に限らず、個別に学校へ地域の文化や歴史を教える時間を作ってほしいと伝えていただければ、校長の判断で時間を作ることができる。もし具体的なテーマがあり「こういう地域学習を自分たち地域の大人が担って学校現場で実践したい」という思いがあれば、教育委員会に伝えていただければ学校に取り次ぐこともできる。ありがたいご提案だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・新市町には大佐山運動公園野球場と、新市中央運動場があるが、音楽フェスなどもできるような大きなグラウンドができればいい。サッカーや野球のプロ選手を呼んで教室などをすれば、福山市内のほかの地域からも来 	<ul style="list-style-type: none"> ・今、地域にどうバランスよくスポーツ施設を作っていくか検討している。スポーツ施設は屋内施設も含め、人口が減少していく中で老朽化も進んできていて、再編し効率的な運営につなげなければならない難しい局面にあ

参加者からの主な意見	市長コメント
<p>てくれるのではないか。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じて健全な若者を育成するのはとても重要なこと。新市の皆さん方が本当に満足していただけるようにしっかりと勉強していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・福塩線を上手に使ってまちを元気にできないかと考えている。上戸手駅は素戔鳴神社や芦田川にも近い。しかし湯田村駅より先で交通系ICカードが使用できないため、そうした整備が整うと他の地域から来やすくなる。駅を中心としたまちづくりができれば面白い。 ・ふくやまブランド農作物の一つである「アスパラガス」の生産を、産地を守るために行っているが利益が出ない。この辺りは農地も多く、「米価が高くなったから農業を始めよう」という若者が出れば、農地を利用し、耕作放棄地の獣害対策にもなる。農業施策にも、もっと力を入れてほしい。 ・農業がしたくて他県から移住してきた人がいるが、市に農地を紹介してもらおうと相談したところ、前向きな回答が得られなかった。 ・新市アスパラガス生産出荷組合でも、4月にアスパラガスフェスタを行う。 ・戸手学区は、お好み焼き屋が6件もあるお好み焼きが好きな地域。福山焼きがあっても盛り上がるのでは。福山地域には商工会が4つあるため、4地域で作ってかわまち広場で対決するフェスを行っても面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福塩線を活用し、地域発展につなげたいという考えはまったくその通り。湯田村駅から先で交通系ICカードが利用できないことについては、我々も福塩線対策協議会を通じて伝えていくことにしている。列車に自転車を持ち込んでサイクリングを楽しめるようになるなど、利便性を高めていく。 ・現在、農業振興すべき地域でしっかりとした農業を本格的に進めていこうということで、6地区（福山、松永、北部、新市、沼隈、神辺）で地域計画をこの3月末までに策定する。新市の振興作物としてアスパラガスは盛り込まれている。是非今後も農業振興課との協議の場で意見をいただければ、地域の皆さんの思いをくみ取った地域計画に仕立てることができる。 ・今、国が新規就農のための経営開始資金を150万円出しているが、福山市はそれに上乗せで60万円出して、新規就農の負担軽減を図ろうとしている。加えて移住支援金制度もある。一番農業に詳しい地元から選出された農業委員に農地を紹介してもらえればよかった。 ・アスパラガスが入ったお好み焼き、さぞおいしいと思う。まずは自分たちで試してみて、その後市や観光協会に掛け合ってみるというやり方もある。
<ul style="list-style-type: none"> ・常金丸は蛍がたくさん飛ぶくらい川が綺麗。水が良いため、地元の諸先輩方はおいしい良い野菜を作っている。農地をもっと利活用できれば。 ・紅葉も綺麗で、春や秋などにはサイクリングに来られる方が多い、福山の玄関口のような場所。しかし新市町には公衆トイレが少な 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニを公衆トイレ代わりに使わせてもらい、協力金やトイレトペーパーを渡すなどの参考事例も踏まえて議論していきたい。 ・道の駅について、かわまち広場の周辺に類似する施設を併せて作れば、それがそのまま道の駅になるのかもわからない。どこに作るかは今後議論になるだろうが、千代田地区かわ

参加者からの主な意見	市長コメント
<p>く、また寄る場所もないため寂しい。道の駅のようなものがあればいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の祭りやマルシェなどいろんなことをしており、タネや知識などをたくさん持っている地域。人数は少ないとはいえ元気で一体感がある。かわまち広場や戸手高校でのイベントにもお手伝いできると思う。 	<p>まち広場をサイクリングロードで結ぶルートも併せて作っていかないといけないし、例えば新市のかわまち広場、駅家の取組、芦田の動物園を利活用し循環するエリア構想も議論してほしい。自分たちだけの施設ではなく、みんなが使える施設になれば、かわまち広場を所管する国の気持ちを大きく動かすことになると思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・上戸手駅の神輿舎の寄附や新市駅のデニム飾り、モニュメントの寄贈などさまざまな取組をしている。その他グラウンドゴルフ大会で、新市学区だけでなく、常金丸から戸手までのお年寄りを集めて輪を作る活動もしている。 ・若いころは芦田川中流域の連携都市構想ということを考え、府中の青年会議所や商工会議所の青年部、新市商工会、芦田町商工会、駅家町商工会などが関わり芦田川の中流域をコスモス街道にしようという取組を行った。手間とコストがかかりやめたが、広い地域で考えることは必要だと思う。 ・商工会青年部だったころ、相方城の城山を若草山焼きのように新市のSの字に焼けば、世界的ニュースになると考えたこともあった。そういうことをやってみるのは若者の特権だと思うので、期待している。 ・地域の人が周りから集まってくるようなかわまち広場ができたなら良いと思う。 ・河川敷のゴルフ場は、木を植えてはいけなし、固定のトイレも設置できない。かわまち広場だとどうなるのかなと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芦田川中流域連携都市構想、素晴らしいと思う。是非復活してほしい。新市を元気にしようと思ったら、外に発信しなければ、他の地域とつながっていないと意味がない。 ・JR福山駅前のにぎわい再生は、まずは新幹線で福山を訪れてくれる人を増やさなければならぬ。福山駅を降りた人が素晴らしい駅前だ、活力がある年だと思ってくれないと2度目3度目の訪問にならない。何度も来てくれるようになると駅前から新市まで足を延ばしてみようと広がっていく。そういう思いで福山駅前のにぎわい再生に着手した。今年からはもう一歩進めて、それぞれの地域でにぎわいの拠点づくりをしようということで、車座トークで皆さんの意見を聞いている。福山駅前には広場を整備しようとしている。バスだけが駅前にいるとマルシェも何もできない。広場ができて、空間を人の手に戻すことができれば、そこに新市のイベントを持ってきて、新幹線で福山に来た東京や大阪の人に新市を知ってもらえることができる。福山駅の広場も活用してほしい。 ・広い地域で考えないといけないというのはまったくその通りだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・かつては繊維の盛んなまちだったが、着物文化の衰退により、現在では緋を織っているところは非常に少ない。今後活用していくというみんなの熱い思いで復活できればいい。 ・今は働くところがなく、Uターンで帰ってくる人も少ない。頑張ってまちを盛り上げるためにどうしたらいいかと考えたとき、商工会 	<ul style="list-style-type: none"> ・点でしかなかった新市を、或いは周辺部を線で結ぶ。そしてそれを面の取組にしていくということだと思う。そういうための拠点づくりを、これから戦略にしていきたいと思う。 ・かわまち広場を地域の拠点として考えているのであれば、しっかりと組織体制づくりが必要。商工会だけではなく、自治会やまち

参加者からの主な意見	市長コメント
<p>青年部でかわまち広場を作ることで子育て世代が町内に根付いていくのではないかという意見が出ている。イベント会場を作ればマルシェなどができるようになると思うので後押ししていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けんか神輿で観光客を呼ぶため、栈敷席設置に係る費用を3年にわたって補助いただき結構な盛り上がりを見せている。 	<p>づくり推進委員会など、大勢の新市の皆さんが賛成してくれる。芦田や駅家、周辺の人たちも新市のここで作ればいいんじゃないかと合意してくれる。その後の運営についても一緒に議論する体制ができる。そういうことをイメージしながら議論を深めてほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会青年部主催で、地域の一級品を知ってもらうため「いっきゅうマルシェ」を吉備津神社で行い、例年約2,000人集まる。第5回の今年は、地域の商工業者にワークショップを出店していただき、帰ってくる就職先の広告も行い、大盛況で終わった。 ・新市町と芦田町には動物園や吉備津神社、素戔鳴神社、金丸には菊などいいものがいっぱいある。かわまち広場があれば芦田町と新市町の中心でもあり、点を線にできる施設ではないかと思う。 ・地域ごとに行事はあるが、小学校区内のことも会やPTAという形に留まっているため、それらを結ぶ場所があればいいと思う。 	

【まとめの挨拶】

○市長

- ・今日は多世代のいろいろな意見を伺った。
- ・いろいろ話を聞いて、皆さんの意見の根底に、かわまち広場づくりというものがあることに気が付いた。2月1日のワークショップでもかわまち広場のことが議論になったとのことだが、千代田地区かわまち広場ができるまで、かなりの時間をかけて議論をした経過がある。国に申請をしてすぐに許可が出るものではない。これから一緒に議論していきたい。仮に新市にかわまち広場を望まれるのであれば真剣に議論を始めなければならない。新市だけではなく、駅家や芦田など周辺の地域も一緒に使う取組になればいいと思う。
- ・これからは、新市の魅力を外に発信していくためにはどうすればいいか、という議論を続けていきたい。
- ・新市のよさを発信するということが提案だが、今度の5月には、世界バラ会議のオープニングイベントとしてRose Expo FUKUYAMA 2025を開催し、東京ガールズコレクションとのコラボ企画を実施する。今、福山のコンテンツであるデニムとバラをイメージしたコスチュームを着てランウェイを歩いていただくことを構想している。これは先方の了解があるが、緋を取り入れていただくことを提案してみようと思う。
- ・どんなに素晴らしい財産も魅力も、外に向けて発信しないと輝かない。

- ・今日はいろいろと参考になるご意見をいただいた。戦略づくりに活かしていきたい。